



2008 今昔館展示模型



2007 西武庫園地リフォーム



2006 N氏の山荘建設



2004 琵琶湖別荘建設



2003 香住古民家移築



2002 大飯古民家移築



2000 朽木研修所離れ

## 美杉山荘 建設プロジェクト

### 外壁下地

貫が入り建物の軸組みが完成すると、外装工事にかかります。屋根工事は先行して済ませていますので、外壁工事から始めます。一般に木造の外壁は、柱や間柱の外側に板材を張り(大壁)、モルタルやサイディングで仕上げます。今回の山荘は丸太の骨組みを外部に露出(真壁)させますので、貫に直接下地の杉板を張ります。製材された5分板(厚さ15mm)の室内側を飽仕上げし、板の端部を欠き込んで重なるように加工(合決り)してから、一枚ずつ張っていきます。



自動カンナを使って、  
木裏側を飽仕上げ



ミゾキリカッターを使っ  
て「合決り」加工



板を留める下地を軸組  
みに取り付けます。



室内側は外壁の下地板が仕上げとなりますので、カンナ仕上げや合決り加工を施しました。もちろん貫も露出しますのでカンナ仕上げしています。隠れてしまう構造材に比べ、仕上げ材はキズや汚れに細心の注意が必要です。

そろそろ山の夜は寒さが厳しくなってきました。外での食事も辛くなりましたので、工事中の山荘内で夕食を頂きました。タコヤキを一番上手に焼けたのは、タコヤキバイト歴2年の林君です。

